

応募方法

1人俳句三句、短歌三首、川柳三句以内（未発表のものに限る）。はがきに作品・住所・氏名・応募する壇名をはっきり書き、〒989-0292 白石市大手町1-1 白石市総務課へ。はがき一枚に短歌、俳句、川柳の併記は不可。毎月15日締め切り。Eメールでも応募できます。(☐koho@city.shiroishi.miyagi.jp)

市民文芸

歌壇 岩崎 聰之介 選

春雨に花現わせる蠟梅やこころ和しく透ける黄に触る 桜井真喜子  
 一期一会の方と思おもまたの会い告げて別るべし 小室アイ子  
 老いゆくわれは バックミラーに津波を見つつ逃れたる怖さ十五年経てど消えざる 齋藤 巖  
 老いゆゑか落ちこむ日々も多々あれど梅花にさそはれ今朝も庭に出づ 菊地せつ子  
 春の野の山菜とりの祖母の背におぶわれし日よいまは臍に 鈴木 雅  
 風を切り弾丸のごとき滑降やミラノ五輪のスノボに魅入る 末吉アツ子  
 老いの身の仕事と課して目標は日に三千歩明日につなげん 村上八重子  
 十歳以上はなる姉は中一で吾をおんぶし一里を通いき 我妻 孝則  
 雪解けて沢辺に鮮やかふきのとう沢の水音は山の春の音 後藤今朝雄  
 スタスタと好きな場所へと進む孫アンパンマンぞ目的地どこ 佐藤喜恵子

俳壇 山家 弘子 選

評一 首目、密度濃く詠う。花ほつぽつとあるところ。亡き母者が植えたと仰っているの、和しくには其のことも関わりう。  
 二 首目、老いゆく今、願っても再会は無理か、募る思いが言葉となる。べしは意志。  
 三 首目、思い出すだけで身震いするらしい、リアルな表白。詞書きを付し記録とされた。

路味噌を酒の肴に手酌酒 星 明  
 うららけし子供食堂馬も来る 平間 幸恵  
 美術館グッズ待つ間の春カフェ 佐藤 隆志  
 紅梅や枝の先まであと三日 山田 もも

柳壇 四 龍 英 夫 選

老いてなお土に恋して春耕す里山は夕日の明かり日脚伸ぶ 蔵王嶺を赤く染めたる春朝日 春キヤベツ 甘味食感夕餉膳 不精よと炬燵好まぬ母なりき 南天の突つばむや二羽の鳥

評一 句目、ふきのとうを生そのまま摺りつぶし味噌とまぜ、砂糖みりんなどで味をつける。それを肴に手酌で酒を呑む大醒醐味。  
 二 句目、蔵王山麓の自然豊かな所の子供食堂。放牧の馬が何を食べているのかと寄り来る何とも微笑しい景。  
 三 句目、ゴッホ展の開館時間が待ち遠しい。あの強烈な色彩と激しい筆致の絵に、心が揺さぶられ、清められていく。

クシヤミする誰か噂か花粉症 刺す寒さ眠れぬ夜にガザ想う 眼覚ましは新聞受けの音カタン ライバルを称う絆の冬季五輪 ほどほどの距離でつき合う心地良き 筋金の身体は老いて自慢だけ 恩返し昔ばなしの鶴どこへ 福寿草終わりを告げて次フグリ 友好のパンダ来日後はいっすれ違う人との老いを見比べる

評一 句目、乾燥する日が続き花粉症には辛い季節。噂されるくしゃみやみが出るか出ないか。「張り込みの刑事には辛い花粉症」。  
 二 句目、世界には戦火に苦しむ国がある。寒さと飢えに喘いでいる人々を思うと心が痛む。一日も早い平和を願わずにはいられない。  
 三 句目、私たちが覆っているうちに新聞は配達される。雪の降る日も雨の日も、感謝の念で手を合わせる思い。ペンには剣より強しと偉人は言う。



▲演習の締めくくりとして行われた迫力満点の一斉放水

火災に備え消防団が演習 令和8年度白石市消防団春季消防演習

4月5日、白石川緑地公園で「令和8年度白石市消防団春季消防演習」を行いました。演習には消防団員42人が参加し、部隊訓練や一斉放水を行い、日頃の訓練成果を披露しました。我妻一雄消防団長は「今年はすでに火事が10件発生しているため、火の用心を心がけてほしい」と話し、市民へ火の元への注意を呼びかけました。



▲真剣にこけしの絵付けに取り組む児童

地元の伝統工芸を学ぶ 市内小学生による「こけしの絵付け」体験

4月10日、福岡小学校でこけしの絵付け体験が行われました。この体験は、こけし工人を講師に迎え、市内の小学校6年生を対象に毎年実施されています。体験した児童は「難しかったけどとても楽しかった。家に飾りたいです」と話してくれました。児童の作品は、「第68回全日本こけしコンクール」会場に展示されます。



▲力強く「エイ、エイ、オー」と声を響かせるアルカス隊

交通死亡事故ゼロへ出陣！ 春の交通安全県民総ぐるみ運動出陣式

4月6日から15日までの春の交通安全県民総ぐるみ運動を前に、白石城本丸広場で出陣式を行いました。当日は、防犯活動で活躍する白石第二小学校の「アルカス隊」が甲冑武者姿で参加し、白石警察署員や交通安全関係団体とともに鬨の声を上げ、交通事故を1件でも減らそうと決意を強めました。



▲こけしを丁寧に磨く工人たち

コンクールに向けてきれいに 工人たちがこけしを清掃

4月16日、こけし工人たちが沢端川桜橋の欄干上のこけしを清掃しました。この活動は、全日本こけしコンクールを前に、訪れた観光客をきれいなこけしでお出迎えしようと毎年実施。4月からこけし工人の見習いとなった大川莉穂さんは「自分の手でこけしがきれいになりうれしいです」と話してくれました。

フレッシュマーケット

～地元農産物の魅力を発信～

地元の農産物や直売所などの魅力をお届けします。～白石市農産物直売所連絡協議会は、地産地消を推進！～



伝統の保存食「笹巻き」

宮城県南では、端午の節句の時期に、子どもの健やかな成長を願って笹巻きが作られてきました。笹の葉には防腐作用があり、昔から食品の保存に重宝され、田植えのときのおやつとしても活躍したとされています。

市内ではおもしろい市場やバーバ工愛市で販売を予定しています。ほのかな笹の葉の香りとやさしい風味をぜひお楽しみください。



▲食べる際は葉を外し、きな粉をつけてお召し上がりください